一橋大学大学院　経営管理研究科　経営管理専攻
経営学修士コース　経営分析プログラム
2027 年度　入学前推奨図書リスト

一橋大学大学院経営管理研究科
経営管理専攻　MBA 教務委員会

合格おめでとうございます。一橋ビジネススクール（経営分析プログラム）における 2 年間を有意義に過ごして頂くため、ご入学にあたり以下の図書を推薦致します。それぞれご確認ください。

［社会科学的な考え方］

苅谷剛彦『知的複眼思考法』講談社（＋α文庫）

本書は、ビジネスリーダーに求められる「一面的でない思考力」や「知的柔軟性」を鍛える必読書です。複雑な問題を単純化せず、多角的にとらえる力は、変化の激しい現代社会で意思決定を誤らない鍵となります。本書は、異なる視点を往復しながら考える方法を、教育・社会・経済など多様な事例を通じて具体的に示します。本研究科の研究・教育理念である「理論と現実の往復運動」に触れる上で本書は最適な入門書です。

また、社会科学とは何か、社会科学を学ぶ意義とは何かを考えるために、本学の青島矢一教授が執筆した以下のエッセイをあわせて読むことをお薦めします。

https://hit-u.repo.nii.ac.jp/records/2034503

［社会科学的な書き方］

経営分析プログラムでは、講義においてレポートを執筆したり、2 年次には修士論文に相当するワークショップ・レポートを執筆したりすることが求められます。レポートや論文において論理的な文章を執筆するためには、日本語の作文技術のみならず、パラグラフ・ライティングの技法を身につけることが必要不可欠です。

本多勝一『＜新版＞日本語の作文技術』朝日新聞出版（朝日文庫）

句読点の打ち方や接続詞の用法などの細かな点について詳しく説明されている著名な本です。きちんとした日本語の文章を書くスキルは自明視されているにもかかわらず、実際には基礎ができていないレポートを数多く見かけます。ワークショップでは毎回ある程度長いレポートの提出が義務づけられており、レポートでは内容や構成の不備はもちろん文法や語法の誤りについても厳しく指摘されます。細かいことについて後で悩まないためにも、必ず入学前に本書を通読することによって作文技法の基本を頭に「たたきこんで」おくことをお薦めします。簡潔にして的確な文章を書く力は一生の宝となります。

倉島保美『論理が伝わる　世界標準の「書く技術」』講談社（ブルーバックス）

レポートや論文において論理的な文章を執筆するためには、パラグラフ・ライティングの技法を身につけることが必要不可欠です。パラグラフ・ライティングとは、共通の内容で括れるものは一つのまとまり（パラグラフ）とし、各パラグラフの先頭に最も重要な文（トピックセンテンス）を示し、それ以後にその補足説明のための文（サポートセンテンス）を示す技法であり、レポートや論文を書く上での世界共通のルールです。本書はパラグラフ・ライティングの技法を解説した本です。

［データ分析］

近年、情報通信技術の発展により、ビッグデータに象徴される大量のデータが、比較的容易に入手可能となっています。これに伴い、データ分析の力が、専門職（データ・サイエンティスト、データ・アナリスト）以外の多岐にわたる職種においても求められ始めており、例えば、経験や直感ではなくデータや合理的根拠をもとに政策を立案する EBPM（Evidence-Based Policy Making，証拠に基づいた政策立案）が、多くの組織において浸透し始めています。

伊藤公一朗『データ分析の力：因果関係に迫る思考方法』光文社新書

データ分析においては、相関関係と因果関係を識別する因果推論の考え方を身につけることが基本となり、これは、ワークショップ・レポートの執筆等、自身の研究を進めるうえでも有用です。本書は、データ分析の基本となる「因果関係の見極め方」について、数式を使わずに具体例を用いて解説したデータ分析の入門書です。

［財務会計関連］

会計やコーポレートファイナンスの領域では、未修者と既修者の間で理解度に大きな違いが生じがちです。これらの領域について、学んだことがない方や自信がない方は、入学前に次の書籍をよく読んで、入学後の講義に臨んで下さい。

國貞克則『新版 財務 3 表一体理解法』朝日新聞出版（朝日新書）

会計は事業の言語です。なじみのない方には非常に難しくうつることもありますが、その体系さえわかれば、理解は一気に進み、企業経営を分析・評価する上でのツールとして使いこなすことができるようになります。本書はそうした会計の体系をわかりやすく説明した良書といえます。

本書は会計の理解力（理論）の基礎的な書籍です。分析力を養いたい方は姉妹書である**國貞克則『新版 財務 3 表図解分析法』朝日新聞出版（朝日新書）も読むとよいでしょう。また、理解力（理論）をさらに高めたい方は同じく**姉妹書である**國貞克則『新版 財務 3 表図解分析法 発展編』朝日新聞出版（朝日新書）もおすすめします。**

［コーポレートファイナンス関連］

砂川伸幸『コーポレートファイナンス入門〈第 2 版〉』日本経済新聞出版社（日経文庫）

企業財務を勉強したことがない人は、事前に読むことを勧めます。一度目は 1 ページ目から最後まで、内容を理解できなくても、読み飛ばしてください。二度目に熟読して、理解を深めるようにしてください。

以上